

青年部・女性部の広場



最優秀賞に輝いた武田氏

東北六県・北海道商工会女性部第七回主張発表ブロック大会並びに交流研修会が七月十四日、青森県三沢市（古牧グランドホテル）を会場に、総勢約三百二十名参加のもと盛大に開催された。毎年開催されているこの研修会は、各女性部員の交流を通して、部員の資質向上と人を通じて、部員の資質向上と人とのネットワーク作りを目的として、本年度は青森県が幹事として、県連として行われた。

次いで、八戸短期大学客員教授である三村三千代さん（女性部石澤京子さん）六名が、日頃からの女性部活動・まちづくりをテーマに熱弁を振るつた。

心とした講演を拝聴した。

全体交流会では、各道県を代表する郷土芸能の披露がなされると、終始和やかな雰囲気の中で終了することができた。

なお、第七回主張発表ブロッサム大会の結果は次のとおり。



主張発表する本県代表の石澤さん

商工会青年部員研修会並びに第十二回商工会青年部主張大会が、去る七月二十日、台ロイヤルパークホテル（仙台市泉区）を会場に、県下商工会青年部員等百五十五名参加のもと開催された。はじめに第十二回青年部主張大会が開催され、各ブロックから代表各一名が出席し、青年部活動や地域振興・まちづくりなどをテーマに、十分間の持ち時間をフル活用し、熱弁を振るつた。

続いて行われた講演会では、「事例でわかる！デキル企業の発想はココが違う！」と題して、中小企業診断士 坂本篤彦氏より、平成不況の最中にありながら業績をあげている企業とその経営者について紹介をいたいただき、発想の根柢とした着眼点について、分かり易くご講評を博しました。

講演終了後、主張大会審査委員長の吉岡徹也先生より主張

張發表の内容について講評を
いただき、それに基づく審査
結果の発表がなされ、栗原・
登米ブロック代表 武田 保
君(栗原南部商工会青年部)
が最優秀賞(宮城県知事賞)
に輝き、優秀賞は仙南ブロック
ク代表 齋藤 岳志 君(角
田市商工会青年部)が受賞し
た。また、会場の青年部員から
は、最優秀賞を受賞した武田君
をはじめとする主張發表者
に対し、健闘と賞賛の拍手が
贈られ、盛会の下に閉幕を迎
えた。なお、武田君は九月
六日にお青森県平賀町で開催さ
れる東北・北海道ブロック主
張大会に本県代表として出場す
ることとなつており、健闘
が期待されるところである。

平成十七年度等育成事業（提案公募型事業及び青年部事業等活性化支援事業）の事業選考委員会が、事業（青年部活性化基金支援事業）の事業選考委員会が、去る八月二日、商工振興センター会議室において開催され、本年度応募した県内五商工会青年部等（一商工会青年部辞退）から事業の実施責任者が、プレゼンテーションとして参加し、事業計画等について、熱弁を奮った。プレゼンテーション後、事業選考委員において慎重なる審議がなされた結果、次の青年部等が実施する本年度事業が、支援助成を行ふに相応しいと判断がなされ、県連及び県連及び青年部連として今後事業費等の支援を行うつていく方向である。（一部条件付）

平成十七年度 若手後継者等育成事業（提案公募型事業）及び
青年部事業等活性化支援事業（青年部活性化基金支援事業）における
支援助成先が決定される

§安い掛金で大きな安心§
宮城県火災共済グループ



○最優秀賞
秋田県代表
由利本荘市商工会女性部
伊藤順子さん
○審査委員特別賞
伊藤順子さん

○角田市・丸森町商工会青年部
「(仮)あぶくま大物産市」
「(提案公募型事業)
年部
「(仮)あぶくま大物産市」
○小牛田町商工会青年部
「タウン誌作成事業」
なお、両事業を計画するに
つた経緯及び実績等につい
ては、来年度の商工会青年部
に對象とした県青連研修会
をおいて事例発表していた
ところであり、両事業の成
功だ等員にて至る。
は今後も商工会青年部員等関
係者の成績等につき、商工
会青年部員等の成績等につき、
模範となるようご尽力いただ
くことを期待するものである。

各種共済
その他

お問い合わせ、お申込みは

もよりの商工会へ

あるいは直接 宮城県火災共済協同組合
TEL 022(263)1265 FAX 022(263)2878